



誘致プロジェクト 〈各プロジェクト詳細〉 <http://rohmdrm.doshisha.ac.jp/PJ/yuuchi-pj.html>

企業・地域の提案による ローム記念館の趣旨に沿ったプロジェクト

企業と学生がともに活動することにより、学生が実際の社会活動に触れ、優秀な人材が育成されることを目指します。



e-learning教材の開発と インフォテーブルの基礎研究

【萬世電機(株)】

最近注目されているインターネットなどのIT技術を利用した新しい学習形態であるe-learning。その普及に向けて今後、重要な鍵となる、魅力的な教材コンテンツの研究開発を行う。

現在の状況：産官学の連携による生涯学習プロジェクトとして「新撰組の素顔」と題したe-learningプログラムを提供中。インフォテーブルについては現在開発途中。

エンターテイナー・スイーツ

【UHA味覚糖(株)】

同志社の学生の若くて、常識にとらわれないクリエイティブな発想によって、これまでの菓子市場になかった全く新しい切り口の菓子商材を開発することを目的としている。

現在の状況：3班に分かれて具体的な商品開発を企業に提案している。現行商品の改善案などを会社内でプレゼンした。

D4

【(株)ドーガ】

新しいデジタル映像文化を広く発展させることを活動目的として、作品や情報の発信、映像制作環境の改善、各種イベントへの参加などの活動によって、デジタル映像文化の振興に貢献していく。

現在の状況：ドーガのコンテストに出品する作品を製作中。各人のキャラクターを作成。CGアニメソフトのモデルパーツを作成したり、子供達にボランティアで描画指導をしたりしている。

メディア教育コンテンツ開発とTV番組作成

【日本原子力研究所、けいはんな文化学術協会、(株)キネット、(株)ケイ・ジー・ティー、クボタコンプス(株)】

学研都市内および同志社大学周辺にある地域情報や学研都市で開催されるイベントや各種セミナーのコンテンツ化を通して、キネットを含むそれぞれの専門分野のプロが適切な指導を行い、卒業後各人が目指す職業を理解し、具体的な実戦技術を習得することを目的とする。

現在の状況：自分たちだけで脚本・取材・撮影・編集までを手がけて同志社大学NEWSを制作。12月のkinetでの放送に向けて準備中。

PACTを利用した応用ソフトウェアの開発

【(株)キュービック、(株)NTTドコモ関西、(株)プランニング・ロケッツ】

PACT(Personal Area Communication Tool)の近距離無線通信技術の特長を生かし、「いまだけ、ここだけ、あなただけ」をキーワードとして、携帯電話と融合した、利用者に有益な情報提供の手段を提供していく技術を開発する。

現在の状況：Open CampusやEVE祭での利用など、大学の密着した形での利用方法を検討中。そのための新たな開発環境の整備中。



こんな欲しかったんキャンパスツール

【ファイルメーカー(株)】

大学生の充実したキャンパスライフをアシストするツールとして、データベースファイルを作成し、完成したツールは、広く公開していく。

現在の状況:「授業支援ファイル」「資料作成ファイル」「住所録・会計表ファイル」の3つのデータベース・テンプレートを開発。ダウンロード提供をしている。また、4月には同志社女子大学学芸学部情報メディア学科1年生の授業「データベース概論」のイントロダクション特別講義を行った。

スポーツ学習支援コンテンツプロジェクト

【(株)日立製作所、(有)オクタル】

小学生から大学生までのスポーツや運動を継続的に映像、及び音声として記録し、スポーツや運動に変容が見られた時、映像や音声データからその過程を

詳細に追うことにより、その変容の原因を探ることを目的とする。

現在の状況:データの入力を中心に行ってきた。今後「スポーツの技術習得」を目的としてそのデータを解析していくことが課題。

MS-CoLabo

【マイクロソフト(株)、デジット(株)】

マイクロソフト製品を全国の大学関係者がより使いやすくするための企画・開発を行う。さらに学内のヘルプデスク運営、イベントの運営を企画する予定。

現在の状況:Word・Excelのテンプレート、Tips集等をホームページで公開中。学生の立場に立った情報提供を心がけている。MS製品の紹介もしている。VISIOを用いた企画などを検討中。

公募プロジェクト

〈各プロジェクト詳細〉 <http://rohmdrm.doshisha.ac.jp/PJ/koubo-pj.html>

同志社学生、生徒、教員の提案によるプロジェクト

同じ目的を共有する学生が集まってプロジェクトを進める中で様々な学生が出会い、自ら思考、表現、協調し、自己認識を深め、総合的に成長していくことを目指します。

レスキューロボットプロジェクト

阪神大震災を経験した関西の大学で積極的に研究・作成しなくてはならないテーマと捉え、学生主体によるレスキューロボット製作に取り組んでいく。製作しているロボットはレスキューロボットコンテストに出場させ、良い評価を得ることを目標としている。

現在の状況:3つのグループに分かれて、ロボット開発を手がけている。現在ガレキ除去ロボット・被災者救助アーム・ガレキ用アームを開発中。来年のレスキューロボットコンテストの出場に向けた準備をしている。

学生と地域の連携に基づくコ・エボリューション

京田辺校地にいる1万人以上の学生と地域が一体となり市民参加型の行政サービスを行っていくための、学生と地域を結びつける場と双方に意味のあるコンテンツの提供をめざす。

現在の状況:NPOとしても活動。TANABE.NETというホームページを運営し、コ・エボリューションを目指す。また、地域のIT講習会や山城里山の会のロボット教室に協力をしたりと地域の中での活動を行っている。